

ボランティア活動報告書(2 号)

記入日	2014年08月28日
区分	一般隊員
氏名	石川 雄介 (25-3)
派遣国	ナミビア
職種・指導科目	土木
派遣期間	2014年01月14日 ~ 2016年01月13日

報告書 2 号要約

赴任して半年が過ぎ、生活・活動ともにアフリカに慣れました。ボランティアの活動計画について、配属先と話し合いを行いました。当初の要請内容と少し異なる部分もあったが、配属先の要望とボランティアの持っている技術・経験を考慮して活動計画を作りました。

活動内容については、新規案件として下記のプロジェクトを担当します。

- ・ Rundu市民公園の設計・施工
- ・ 公共トイレの設計・施工
- ・ 新規水道インフラの設計・施工

その他、既存インフラの維持・補修、道路のメンテナンスを行う予定です。新規プロジェクトについては、設計～施工までボランティアが主体となって役場主導で行うことによって、役場の技術者にプロジェクト管理についての考え方や工程・品質管理についての考え方を伝えていきたいと考えています。役場には、パソコンも製図ソフトも揃っているの、簡単な設計なら自分たちでできる設備はありますが、現在は、すべて外注に出しています。自分たちで設計もできるようになることで、技術力の向上と工事の流れの理解が進むと思います。

任地での生活は、5月に空き巣に入られたりしましたが、その後の同僚や近隣の方からいろいろと助けていただき、安定した生活を送っています。

7月末より、同じ町に新隊員が来たことにより、自分の活動以外でも、町の発展のためにガイドブック書籍の発行、タウンマップの作成、などをできないかどうか検討中です。

1. 活動計画の説明

Rundu町役場において、今後取り組む活動内容を下記のように決めました。

- Rundu市民公園の設計・施工
- 公共トイレの設計・施工
- 新規水道インフラの設計・施工
- 既設インフラの維持・補修
- 道路のメンテナンス

すべての活動において、役場の土木技術者、都市計画技術者と協力して計画・図面作成・

予算の確保を行い、施工に関しては、役場作業員及び民間作業員、職業訓練校学生とともにに行います。

Rundu市民公園、公共トイレの予算については、新規案件のため、ボランティアが予算書を作成し、今年度の予算に計上するよう役場・議会に働きかけます。それ以外の工事については、既存の予算以内で、随時施工していきます。

2. 活動計画策定に向けた配属先との意見交換

活動計画作成にあたって、都市計画部長、土木部長とともにボランティアの活動に関する会議を開きました。ボランティア自身の経験及び技術を発表し、町の改善点、問題点を話し合いながら、配属先の要望を考慮して活動計画を定めました。

3. 配属先の動向

赴任当初から変更された点などは特にありません。

4. 受入国の人々との交流

前任のボランティアがいたこともあり、日本人に対する理解はある程度あります。2014年にワールドカップが開催され、日本も出場していたということもあり、日本の選手について教えてくれということと言われることもありました。

同僚以外では、近所の子供から空手を教えてくれと言われることや、タクシーの運転手から日本車の素晴らしさについて講釈を受けることがよくあります。

役場では、毎年5月にナミビア中の役場対抗でスポーツ大会を開催しており、今年はOtj oという町で開催されました。その練習のために、仕事が終わったあと、バレーボールやサッカーを行い、同僚と交流を深めました。また、大会では、他の町の人とも会話をする機会もあり、バレーボールで試合をした他の町の人達と交流をしました。

5. その他特記事項

任地に赴任して2ヶ月ほどで空き巣に入られた。

ちょうど、役場対抗のスポーツ大会で1週間ほど留守にしているときで、この期間中に近所の他の家でも空き巣被害があったとのことである。私が住んでいるエリアは、政府関係者が多く住んでおり、窃盗団に狙われやすい地域であるとのこと。長期間留守にする間は、民間警備会社に警備を依頼するなど、ある程度の対策をしなければならないということ、身をもって学んだ。

さらに、Rundu町では、中国人を狙った空き巣や強盗犯罪も増えており、先日は強盗殺人事件もあった。

日本人は中国人と同じと思われており、見わけもつかないため、常に狙われているという意識を持って町を歩かなければならない。警察も頼りにすることはできないため、自分の身は自分で守らなければいけないと強く感じている。

JICAへの要望・提案

特になし

- ・ 指定添付書類（様式 1～4）

ボランティアへのコメント(在外事務所)

記入者：